



やさしくて
穏やかな
福祉社会の創造



特集 | 65歳以上の4人に1人が 認知症の危機に... いつ取り組むのか? 今でしょ!

厚生労働省の調査によると「二〇一二年時点で、認知症の人(推計四六二万人)と認知症になる可能性がある軽度認知障害(MCI)の高齢者(推計四〇〇万人)を含めると、六五歳以上の四人に一人が認知症とその予備軍となる。」としています。

また、同省は「介護保険によるデータから、認知症の高齢者数は、二〇一〇年は二八〇万人、二〇一二年は三〇五万人と二年間で二五万人増加したが、実際には介護サービスを利用していない高齢者の中にも認知症の人がいるとみられる。さらに、MCIの人は、推計で二〇一〇年は約三八〇万人、二〇一二年は約四〇〇万人と推計される。」としています。

これらのことにより、市民の皆さまも認知症については、誰もがその可能性がある身近な病気であることを認識いただけましたでしょうか。

そこで、今月号では「認知症にならないために」また、「ご家族が認知症になったら」について皆さまと一緒に考えてみたいと思います。

そもそも「認知症」とは、いろいろな原因で脳の細胞がこわれたり、働きが悪くなったためにさまざまな障がいが起こり、生活するうえで支障が出ている状態がおよそ六か月以上継続していることを指します。

認知症を引き起こす病気のうち、もっとも多いのは、アルツハイマー病

などにより脳の神経細胞がゆっくりと壊れていく変性疾患です。

その次に多いのは、脳梗塞(のうこうそく)などにより、脳の神経細胞に栄養や酸素が行きわたらなくなり、神経細胞が壊れたり、神経のネットワークが壊れてしまう脳血管性認知症です。

脳の細胞が壊れることによって直接起こる症状のことを「中核症状ちゅうかくしょうじょう」と言います。この中核症状により、大切な情報や覚えていたはずの記憶が失われる障がいや、時間や季節感・自分がどこにいるかわからなくなる障がい、理解・判断力の障がい、料理をつくるのが難しくなる障がいなどにより、周囲で起こっている現実を正しく認識できなくなってしまう。

これらにより、てきぱきとできた料理や、掃除などができなくなり、自信を失い、すべてが面倒になり興味がわかなくなったり、うつ状態になることもあります。

また、自宅のトイレの場所がわからなくなり、衣類の脱着に手間取って汚してしまったりするなど、本人にとってもシヨッキングなできごととなってしまふこともあります。

ときには、大切なものをしまい忘れたり、違う場所にしまいこみ、一番そばでお世話してくれる人に対して、もの盗られ妄想となったり、自宅に戻れなくなることもあります。

●今月号のトピックス

- どろりんピック2013 ③
- みんなで支えあうための「社協会費」です ④
- ボランティア紹介「大正琴スターチルドレン」「日舞華扇会」 ⑧
- サロンの部屋「泉ヶ丘ふれあいサロン」「コアラサロン」 ⑧
- 介護のコツ学びませんか「家族介護教室」 ⑨
- 会員募集「こどもの緊急サポート」 ⑨
- 450円ランチ「カフェラン・ラン」 ⑨
- 栄養士と一緒に「離乳食教室」 ⑨
- 今週の「クイズ」は? 10



あなたのまちの
幸せのために
この広報誌は、共同募金の配分金を受け製作しております。

発行

社会福祉法人 合志市社会福祉協議会 熊本県合志市須屋2251-1 (保健福祉センター『ふれあい館』内)

TEL 096-242-7000(代) FAX 096-242-6635

http://www.koshi-shakyo.or.jp/ E-mail : info@koshi-shakyo.or.jp



特集 | 65歳以上の4人に1人が 認知症の危機に…

いつ取り組むのか？ 今でしょ！

「ご家族やご近所の方が認知症になったら、『診断と治療』早期診断・早期治療を…劇的に良くなる場合も」

正常圧水頭症(せいじょうあつすいとうしょう)などの場合、脳外科的な処置で劇的に良くなる場合があります。しかし、これらも長期間放置すると脳の細胞が機能不全となり、回復が不可能となることがありますので、一日も早く受診することが必要です。

また、アルツハイマー病では、薬で進行を遅らせることができ、脳血管障害などでは、進行を止めることができることもあるので、認知症と診断されても、かかりつけの病院やケアマネジャーなどの専門家に相談をしてください。

認知症の方と接するときの心構えについて…

皆さまの中には「認知症の本人には自覚がない」と思っておられる方はいませんか。これは実は大きな間違いです。

認知症になってしまうと、今までできていたことができなくなるなどで、その症状に一番早く気が付くのは本人なのです。

認知症の人は何もわからないのではなく、誰よりも一番心配なもの、苦しいのも、悲しいのも本人なのです。

誰もが認知症という病気のことを

正しく理解し、今までどおりのご家族やお友達のように、ちょっとした手助けをすればいいような、さりげなく自然に、それが一番ではないでしょうか。



認知症に関する合志市(社)協の取り組みをいくつかご紹介します。

【徘徊模擬(はいかいもぎ)訓練】

「ささえ愛隊」の協力を得て、毎年地区を指定し、そこを中心に毎年実施しています。

認知症の方への接し方を学んだ後に、徘徊者役の方とサポーターが地区内の四〜五つの各コースを徘徊し、市民の皆さまに声掛けの方法や、適切な連絡方法を訓練するものです。

【認知症家族のつどい】

福祉会館、泉ヶ丘市民センター、ふれあい館などにおいて、年に計五回程実施しています。

長年にわたり、認知症のご家族と過ごされた方からもお話を伺う中で、ご家族など認知症による症状

や、行動によるお困りごとなどを皆さまとお話しするなかで、ストレスの発散や共感などをとおして今後につながるものです。

【脳いきいき教室】

みどり館、須屋市民センター、ふれあい館において各講座とも四〜六か月間実施しています。

教室運営にお手伝いいただくサポーターの協力を得て、専用の教材を使用し、継続して学習することにより、学習者とサポーターとの楽しい交流も行い、認知症の予防をはじめ、ひきこもりなどを防ぐものです。

さらに、各教室の終了後には、サポーターと学習者のOBにより結成された「さくら草の会」により、季節に応じたバス旅行が年に数回程行われています。

【高齢者サロン事業】

年に数回から月に数回まで、地域によって会場やすすめ方は異なりますが、皆さまのお近くの歩いて通えるような公民館などを利用し、地域のボランティアにより運営されています。

サロンでは、事前にボランティアによる開催案内の声掛けに始まり、当日お集まりの方々と共に楽しくお食事をしたり、レクリエーションなどを行うことで、認知症予防や、閉じこもりなどを防ぎます。

合志市内には現在三八か所において、計四〇四回開催され、のべ九、六五五名が参加されています。

【認知症サポーター養成講座】

社協職員による「にわか劇」を用いるなどの工夫を凝らし、認知症の方とのかかわり方などについて、地域の集まり、学校、企業などへ出前による養成講座を行っており、今年の三月末日現在で四、六三二名の方が受講されています。



6月8日(土)「ドロリンピック2013」を開催しました!



みーんなが
どろんどろんに!!

たんぼのドロの感触を味わい楽しみながら、未来を担う子どもに食生活改善推進委員さんと協力しながら、食の大切さを伝えようと9年前から実施しています。

子どもはもちろん、大人も本気でどろんこ遊びに熱

中しました。ご参加いただいた皆さまの泥だらけの弾けるような笑顔がとても素敵でした! どろんこあがった後は、食生活改善推進委員さん手づくりのおにぎりを食べ、お米についてのお話をききました。



6月に西児童館クラブ(地域組織活動育成事業)のみなさんが児童館内をピカピカにお掃除してくださいました!

ハッピークッキング



西児童館クラブのみなさん
ありがとうございました!



アリスくらぶ



このゆびとまれ

西児童館クラブ(地域組織活動育成事業)とは、子育てサークル・支援サークルさんを中心に、自分たちが必要な活動か興味がある活動を地域の中で行っています。興味がある方はぜひおたずねください。

【お問い合わせ】 子ども支援センター TEL242-7008 FAX242-6635

平成二十五年度 社会福祉協議会(社協)会費に御協力お願いいたします。

市民の皆さまには、日頃から多大なる御支援をいただき心から感謝申し上げます。

社会福祉協議会(以下「社協」)は、社会福祉法第九十九条に規定された事業を行う同法第二十二條に定義された社会福祉法人です。

同法条文の中には、社協は「社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助」つまり、「地域福祉」にかかわる事業を推進するという役割があり、合志市社協においては様々な事業を市民の皆さまからの御協力をいただきながら実施しております。

今後とも市民の皆さまからの御理解をいただき、赤ちゃんから高齢者までの全市民の方々に「やさしくて穏やかな福祉社会の創造」に向けた合志市社協の取り組みへの御支援をお願いいたします。

「社協会費」は住民の皆様、会費を集めていただく自治会長(区長)様、組長・班長様、企業・団体様のあたたかい御協力により成り立っております。

【社協会費(年額)】

「一般世帯」

普通会员 一口 五〇〇円

賛助会員 一口 一、〇〇〇円

特別会員 一口 五、〇〇〇円

「企業・団体」

賛助会員 一口 五、〇〇〇円

特別会員 一口 一〇、〇〇〇円

【会費の納入方法は】

住民の皆さまには、自治会長(区長)様を通じて会員募集をお願いしております。

会費を集めていただく方の負担にならないように「会員台帳」を御用意しております。

御申込みは会費募集の際に御願いたします。



平成24年度社協会費は、市民の皆さまの御理解と御協力により、6,368,350円の浄財をいただきました。そこで、社協会費がどのように使われているのかについて、「平成24年度合志市社会福祉協議会事業報告」の中から抜粋して御報告いたします。

●組織運営(法人運営) ……746,350円

理事(10名)会の開催4回、評議員(22名)会の開催3回、監査(幹事、県地域振興局、県子ども未来課:各1回、公認会計士12回)の開催、管理施設:ふれあい館(51,437名)、老人憩いの家(62,559名)、みどり館(30,396名)、福祉会館(14,940名)、視察研修受け入れ(19か所)(511名)、実習生受け入れ(82名)(177日間)など

●地域福祉・ボランティア活動の推進

- 1 地域福祉を支える人材の育成 ……467,000円
 ぽっかぽか(住民参加型在宅福祉サービス事業による)サポーター養成(553名)、サポーター認定(43名)、スーパーサポーター(高齢者、障がい者、児童に対する生活支援)認定(27名)、エグゼクティブ(生活・介護)サポーター認定(8名)

- 2 ボランティアセンターの活動……150,000円
ボランティア体験学習(42名)、ボランティア登録(1,359名)、ボランティア指定校生徒数(3,999名)、ボランティアコーディネート(519件)、災害ボランティア養成講座(60名)、ボランティア交流会(187名)
- 3 地域福祉活動の推進……600,000円
ふれあいフェスティバル(682名)、見守りネットワーク(ボランティア550名)、異世代間交流(1,053名)、各種福祉団体・地域福祉活動助成事業、ひとり暮らし高齢者交流会(171名)、ひとり暮らし高齢者訪問(445件)、障がい者・児療育サロン(45名)、おもちゃ図書館・音楽クラブ(144名)、ひとり親家庭就労支援事業など
- 4 安心生活創造事業……180,000円
地域福祉座談会2か所で4回開催(のべ121名)、生活課題調査(782件)、市と協働で地域福祉活動計画策定(5か年計画)、ぽっかぽか(住民参加型在宅福祉サービス事業による)サポートで個人サポーター(276名)と団体(4団体)により活動(557回)、安心ほっとライン(命のバトン)の配布(1,667名)
- 5 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業……374,000円
陶芸教室(のべ24名)、ステンドグラス教室(のべ62名)、木工教室(のべ133名)、木工フォローアップ教室(44名)、男の料理教室(のべ135名)、男の料理フォローアップ教室(のべ28名)、団塊の世代男の井戸端サロンの(のべ400名)
- 6 地域住民グループ支援事業……978,000円
高齢者サロン(38か所)(404回開催)、ボランティアによる高齢者等への声掛け(14,635回)、運営ボランティア研修(5回)(のべ258名)など
- 7 家族介護者交流事業……50,000円
要介護者・介護者のリフレッシュ事業(のべ47名)
- 8 認知症予防プログラム事業……508,000円
脳いきいき(ふれあい館、みどり館、須屋)3教室:学習者(のべ592名)、サポーター(のべ名462名)
- 9 家族介護教室事業……30,000円
家族介護教室(在宅介護、緊急対応、福祉制度)3教室(のべ125名)
- 10 合志地区総合相談支援事業……100,000円
相談件数(1,038件)
- 11 南ヶ丘福祉支援センター……629,000円
通所介護(のべ2,320名)、学童保育(のべ2,476名)、病児病後児(のべ209名)、地域ふれあいホーム活動(のべ1,644名)、年末あっとほーむ(18名)など

●障がい者支援センター「れんがの家」

- 1 地域活動支援センター事業……100,000円
障がいをお持ちの方の余暇活動や相談対応(のべ2,501名)
- 2 指定障がい者一般相談支援事業所……300,000円
各事業所との連携をはかる障がい者のワンストップサービス(68件)

●在宅福祉サービス・介護保険事業

- 2 通所系サービス……10,000円
閉じこもり予防通所事業(みどり館)(のべ1,895名)、身体障がい者デイサービス事業(のべ1,030名)、指定通所介護事業:介護給付(要介護1以上)(のべ8,522名)、予防給付(要支援1,2)(のべ2,375名)
- 3 訪問系サービス……596,000円
高齢者生活管理指導員派遣事業(のべ749名)、認知症高齢者家族やすらぎ支援事業(のべ147名)、有償ホームヘルプサービス事業(のべ19名)、指定訪問介護・予防訪問介護事業:介護給付(要介護1以上)(のべ516名)、予防給付(要支援1,2)(のべ525名)、介護保険・医療保険・精神通院医療対応:介護保険(のべ78名)、医療保険(のべ517名)ほか

●こども支援センター事業

- 1 地域子育て支援センター事業……100,000円
育児不安に対する相談指導:相談機会の拡大と利用者同士の交流(のべ2,325名)、地域子育て交流(のべ1,127名)、子育てサークル育成指導(7地区)(80回開催)(のべ2,024名)
- 2 ファミリーサポートセンター……150,000円
ファミリーサポート:利用会員(1,072名)、協力会員(257名)、両方会員(1,533名)、支援回数(3,425件)、こどもの緊急サポート:利用会員(131名)、協力会員(59名)、支援回数(181件)、協力会員講習会・フォローアップ講座・緊急サポート講習会(のべ272名)
- 3 病児・病後児保育事業、児童館事業……300,000円
病児・病後児保育事業(「すこやか」ふれあい館)(のべ648名)、(「陽(ひかり)」南ヶ丘)(のべ206名)、児童館事業(のべ13,173名):①体力増進活動[バスケットボール(48名)、キッズテニススクール(のべ39名)、親子ボクシングエクササイズ教室(68名)、親子ランニング教室(24名)],②夏休み児童館特別企画(7回)(のべ566名),③ふれあい交流事業(中高生来館促進)(のべ187名),④魔法の赤ちゃん(乳児とその保護者と小中高生の交流)(6回)(のべ100名),⑤えほんの読み聞かせ(4回)(のべ124名)ほか

れんがの家 だより

れんがの家で大切にしていることのひとつが、“食育”です。

児童通所のランチやおやつは手づくりでこだわっています。また、食材もれんがの家の畑や地域で生産された野菜などを使い提供しています。

朝から利用の日の子どもたちは、「今日のランチなに〜?」、学校から帰ってきた子どもたちは「今日のおやつ何〜?」と、とても楽しみにしています。

れんがの家では、おいしく楽しく五感を使って食べるなかで、季節感や心を育てています。

おいしい 応援団



れんがの家にご理解をいただき、いつも食材を提供して下さる地域の応援団をご紹介します。いつもありがとうございます。



境さま (合志市野々島在住)

高齢のご夫婦でスイカや野菜をつくられています。大きくて甘いスイカに子どもたちも喜んでいます。



ハ橋さま

(合志市須屋在住)
ご自宅の畑で採れたご自慢の四季折々の野菜をいただいています。



渡辺さま (合志市幾久富在住)

色んな野菜をつくられています。形や色が不ぞろいでも味は変わりません。たくさんの新鮮なお野菜はランチで子どもたちもパクパク食べています。



株式会社ダイケンさま

「れんがの家」の近くの印刷会社さんです。ある日の朝、新しい駐車場かられんがの家に向かって歩いているとき、剪定作業中の男性に「この実は何ですか?」と尋ねました。男性は「ヤマモモ! ジャムにするとおいしいよ。採ってもいいよ」と。後でわかったのですが、男性は優しい社長さんでした。早速ちぎりに行ってジャムやジュースにして、おやつに食べました。



ヤマモモの実



デイの活動で枝から実をはずしました。細かい作業でしたが、集中して取り組みむことができました。



ジャムとジュースを届けに行きました。社長さんありがとうございました。

じゃがいも掘り



よしよ!
おいもはどこだ?

地域活動支援センター(地活)の活動で、畑でいろいろな野菜をつくっています。

地活ボランティアの徳永さんと小森田さんのご指導により、じゃがいもを放課後デイの子どもたちが収穫しました。



たくさん
掘ったよ!

おやつレシピ

カルシウムたっぷり、子どもたちにも人気のおやつを紹介します。超簡単でおいしく栄養もばっちりです。皆さまもぜひつくってみてください!

材料:
いりこ
スライスチーズ(とろけるタイプ)
クッキングシート

作り方:
クッキングシートにいりこを並べ、
チーズをのせてレンジで2分
冷めてパリパリになったら出来上がり!



臨時職員募集

職種：看護師・登録ヘルパー

勤務時間等は相談に応じます。
詳細は「れんがの家」までおたずねください。



* 障がいをお持ちの方の余暇活動へ皆さまの特技・趣味をご指導いただくボランティアさん募集中です。場所や必要なものはこちらで用意します。詳細は「れんがの家」にお問い合わせください。

* ホームページに地域活動支援センターの行事予定と「れんがの家便りバ・ト・ン」を掲載しています。

【お問い合わせ】 TEL：242-2271 FAX：223-5625 E-mail：renga@koshi-shakyo.or.jp

脳いきいき教室 (ふれあい館)

参加者追加募集中

現在、脳いきいき教室(ふれあい館)の参加者を追加で若干名募集しています。読み書きや簡単な計算等により認知症を楽しく予防します。

- 日時会場：12月までの毎週水曜日10：00～11：30 ふれあい館
- 対象者：65歳以上で週1回の教室参加と毎日10分程度の自宅学習が可能な方
- 参加費：月額2,200円(教材代)

【お申し込み・お問い合わせ】 地域福祉課 TEL242-7007

今月も、合志市で活躍されているボランティア(ボランティアセンター登録者)さんを紹介いたします。

大正琴 スターチルドレン

会 員：3名

活動内容：月に2回、おしゃべりも兼ねて大正琴を練習しています。また、地域のイベントや病院、施設等に出かけ、演奏にあわせて一緒に唄ったり、談笑したりとボランティア活動に精を出しています。



大正琴の音色に魅せられた仲間が集まって立ち上げました。毎年7月には、星子愛子講師傘下の教室合同の「おさらい会」を開催し、琴仲間としての絆を深めています。教室では、いつでも窓を開放し、入会者を募っております。興味をお持ちの方は、お気軽に声をおかけ下さい。

日舞華扇会

会 員：13名

活動内容：日本舞踊を通してボランティアをしているグループです。老人ホーム、デイサービス、ふれあいサロン、地域のお祭り等に月10回以上活動しています。それぞれが時間の都合で全員が揃うことは月に2~3回です。これからも稽古、ボランティア活動に力を入れていきます。



日舞華扇会は、流派はそれぞれ違いますが、ボランティア活動という目的に向かって心をひとつに頑張っています。

皆さんは、日本舞踊と聞くと古典が多く、堅苦しく思いませんか？グループは見られ

る方々の立場に立って、新舞を主に皆さんが知っている曲、懐かしい思い出の曲、手拍子をしたくなるような曲を合間に入れながら、楽しい時間を一緒に過ごせるように心掛けています。

ボランティアに行くと、皆さん「良かったよ！また来てね、待ってるよ！」などの言葉で、逆に元気を頂いています。これからも皆さんに喜んでいただけるようパワー全開で頑張ります。

【お問い合わせ】ボランティアセンター TEL 242-7007 FAX 242-6635

合志市各地域で行われている
サロンをご紹介します♪

サロンの部屋

サロンとは??

地域の方々が気軽に集まることができる公民館などで、その地域のボランティアの方々によりつくっていく活動です。

サロンでできたつながりが、地域住民同士の自発的な支えあい活動の広がり、福祉環境の整備を目的に高齢者や子育て等の各地域においてさまざまな活動が実施されています。

高齢者サロン【泉ヶ丘】

泉ヶ丘ふれあいサロン



☆月一回、泉ヶ丘公民館か泉ヶ丘市民センターで手芸や身体を動かすレクリエーションを行ったり、みんなで楽しく活動しています。お近くにお住まいの方、ぜひご連絡ください。

子育てサロン【武蔵野台地区】

コアラサロン



場 所：武蔵野台公民館（学習センター）
対象者：就園前の乳幼児親子
*原則第2火曜日 10:00~12:00開催

☆自由あそび後のリズム体操や、絵本の読み聞かせなどは楽しいひとときです。お子さんが大好きな手作りおやつタイムは、和やかな雰囲気で大好評です♪
小さいお子さん連れのお母様方が気軽に参加され、くつろげる空間づくりに努めていますので、お近くにお住まいの方は、ぜひ遊びに来てください♪

こどもの緊急サポート

利用会員随時募集中!!

『こどもの緊急サポート』とは?

緊急な場合の保育園へのお迎えと病院受診付き添い、病気のこどもの預かりなど、子育て中の困りごとを地域の中でサポートするネットワーク事業です。

登録には、1時間程度の説明会の受講が必要です。登録希望される方は電話連絡の後、ふれあい館までお越しください。

【お申し込み・お問い合わせ】

合志市ファミリーサポートセンター TEL242-7008

家族介護教室 参加者募集!!

「急に家族の介護が必要になったらどうしよう・・・」「現在介護をしていて、介護に関する技術や知識を身につけたい!」「同じ境遇の人と話がしたい」等々理由は何でもOKです!

介護や福祉に興味のある方ならどなたでもお気軽にご参加ください

第1回 「安心できる在宅介護」

- 日 時：8月8日(木) 13:30~16:00
- 会 場：福祉会館（ヴィーブル内）大広間
- 内 容：介護で快適な関係を築くポイント
 - ①食事介助の基本 ②排せつ介助
 - ③移乗・移動の介助

第2回 「あわてない! あなたにもできる緊急時の対応」 9月5日(木)

第3回 「あなたを守る福祉制度」 10月3日(木)

※なお、今回の3回コースと同じ内容で、後期(11月~12月)は“ふれあい館”において開催予定です。
※1回のみ参加も可能です。

【お申し込み・お問い合わせ】
地域福祉課 TEL242-7007

カフェラン・ラン においでよ!

ふれあい館には、毎週火曜日から金曜日までランチを提供しているカフェがあります。

写真のような定食は450円、デザートは100円などふれあい館のご利用者様を中心にたいへん喜ばれています。皆さんもぜひ「カフェラン・ラン」のランチを食べにふれあい館へお越しください。



手羽元の煮込み、串カツ、ごはん、みそ汁



魚のフコパン又魚、ごはん、冷茶碗蒸し(ナチェリーケーキ)



ビビンバ、ちぢみ、わかめスープ



あぐらのミンチかりぼてつらだ付き、ごはん、みそ汁



豚肉のトマト煮込み、シーガーサラダ、ごはん、冷スープ



味噌カツ

手羽元の煮込み

ちぢみ、から揚げ



味噌カツサンド

離乳食教室 (初期・中期)

開催のお知らせ

栄養士さんと一緒につくりながら、
離乳食のコツを学びましょう♪

- ☆日 時：9月2日(月) 10:00~13:00
- ☆会 場：ふれあい館
- ☆参加費：300円
- ☆内 容：離乳食初期・中期(5ヶ月~8ヶ月)
- ☆定 員：10組
- ☆受 付：8月8日(木) 10:00~
ふれあい館の窓口でお願いします



【お申し込み・お問い合わせ】
こども支援センター TEL242-7008

Message

1月にどんどやで、れんがの家の方々とご一緒させていただきました。もっともっと自然に活動できる場を作ってほしいです。どんどやの最後に先生のピアノ演奏で皆で歌った光景がとてものどかで心あたまるひとときでした。(D.Gさん)

Message

ありがとうございました

受付順

6/1~30
受付分

次の方々から社会福祉協議会にご寄付いただきました。厚くお礼申し上げます。

- 中尾/城悦子様 (故夫 祐輔様)
- 上町/広永義直様 (故妻 マス工様)
- 若原/久木田恵美様 (故夫 孝治様)
- 平島/村上美恵子様 (故姉 西田恵子様)
- 須屋/古閑貞恵様 (故夫 宗俊様)
- 黒石団地/地挽たけ子様 (故夫 博様)
- 生坪/藤本正義様 (故母 アヤ子様)
- 辻久保/緒方信章様 (故母 八千代様)
- 群/酒井美代子様 (故夫 保金様)
- 弘生/本田幸一様 (故母 リツ工様)
- 油古閑/松永茂身様 (故母 登美様)
- 永江団地/椎葉のり子様 (故夫 輝男様)
- 上須屋/大塚健一郎様 (故母 チミ子様)
- 御領/岡村節子様 (故夫 良輔様)
- 上庄/合志敏郎様 (故父 利雄様)
- ◆ 香典返し ◆

読者のコーナー

クイズです。

黒石駅近くで合志市社協が運営している障がい者支援センターの名前はなんでしょうか？ 次の○には何が入るかお答えください。



「○んがの家」

(ヒント)

【施設名の由来】英国童話「三匹の子豚」で、三兄弟をオオカミから守ったのは、時間をかけコツコツ作りあげたレンガの家でした。そこで、ここを利用される方がゆっくりでもコツコツと何かを作りあげていただけるような、そんな家になればと考えました。

クイズにお答えいただいた方の中から、抽選で図書券1,000円分を1名様にプレゼントします。

郵便番号、住所、氏名、電話番号をお書きのうえ、はがき、ファックス、本会facebookのメッセージのいずれかの方法で応募してください。締め切りは「ほっとライン9月号」発行日と同じ8月15日(木)必着です。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※ご応募いただく際に、ペンネームを添えて皆さまの最近の出来事などお書きください。いただいたメッセージの中から「ほっとライン」の中のページ下部に掲載させていただきます(50文字程度)。併せて皆さまからのご意見もお待ちしております。

〒861-1102 合志市須屋2251-1ふれあい館内
合志市社会福祉協議会「ほっとライン」係
ファックス番号 096-242-6635

Facebook

最新情報を発信しています！

次のアドレス、または、QRコードからアクセスしてください。

facebookページのアドレス→

<http://goo.gl/Xhyyw>



- ◆ 一般寄付 ◆
- すまけ台/ぼっかばか (すまけ台)
- 合志ZUMBA (カズンバ倶楽部様)
- 合志ZUMBA (AYA倶楽部様)
- 杉並台/下條寛二様 (武蔵野台/荒木 章子様)
- ◆ 地域たすけあい募金 ◆
- デイリヤマザキ西合志須屋店様
- ポプラ合志豊岡店様
- エブリワン西合志店様
- ◆ 寄贈 ◆
- 黒石団地/地挽たけ子様 (フリーネバント)

ふれあい総合相談

相談無料

社会福祉協議会では、各種相談窓口を開設しています。お気軽にご相談ください。

相談日・場所	担当相談員	相談内容
8/1 (木) (泉ヶ丘支所)	弁護士 民生児童委員	法律に関すること
8/9 (金) (みどり館)	弁護士 行政相談委員 人権擁護委員	生活上の お困りごとについて
8/20 (火) (西合志庁舎)	弁護士 行政相談委員 人権擁護委員	
時間 10:00~12:00 13:00~15:00		※相談受付時間 9:30~14:30

相談日・場所	担当相談員	相談内容
8/21 (水) (ヴィーブル 福祉会館) 時間 10:00~12:00	熊本県北部障害者 就業・生活支援 センター 「がまだす」	障がい者の就労支援 に関する相談
月~金 (ふれあい館) 時間 8:30~17:00	社会福祉協議会職員	福祉やボランティア に関すること 子どもに関する相談

社会福祉法人 合志市社会福祉協議会 TEL242-7000(代)

お問い合わせ

- ふれあい館 TEL242-7000
- みどり館 TEL248-0400
- 福祉会館 TEL248-2625

- 南ヶ丘福祉支援センター
輝き館ひかり TEL288-2240
- 障がい者支援センター
れんがの家 TEL242-2271

- このみ坂保育園 TEL247-6630